

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	庁 議
開 催 日 時	令和2年6月30日（火）午前9時56分～午前10時25分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：副市長、教育長、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、協働推進部環境担当部長、健康福祉部長、健康福祉部高年齢・障害担当部長、子ども家庭部長、都市整備部長、都市整備部建設管理担当部長、教育部長、学校教育担当部長、議会事務局長、会計管理者 欠席者：市長 説明員：福祉総務課長
議 題	1 武蔵村山市子どもの未来応援プラン（案）について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：原案を一部修正の上、決定する。 議題2：特になし。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発言者） ○印=構成員 ●印=説明員	議題1 武蔵村山市子どもの未来応援プラン（案）について （健康福祉部長説明） 子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行により、市町村は「子どもの貧困に関する大綱」を勘案した計画を定めるよう努めるものとされている。 本市においても、平成30年度に実施した「生活実態調査」及び「ひとり親家庭等ニーズ調査」の結果を踏まえ、市や東京都の取組を有機的・効果的に連携させ、支援を必要とする子どもや家庭に漏れなく支援が届くことを目的とし、令和2年度から令和6年度までを計画期間として本プランを策定するものである。 令和2年3月に「子どもの未来応援プラン策定懇談会」からいただいた報告書では、プランの実施について、経済的困難の側面の解消のみにとらわれることなく行われるよう、また、子どもの視点に立って貧困の連鎖を断ち切る仕組みの推進に努め、次の世代へとつながるような切れ目のない支援の視点をもって施策の推進に努められたいと意見をいただいた。 今後は「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」の実施については、このプランと関連の深い「第二期子ども・子育て支援事業計画」を始めとする、その他計画等と連携し、進める予定である。 具体的な内容については、福祉総務課長から説明させます。 （福祉総務課長） 武蔵村山市子どもの未来応援プラン（案）について説明

—説明省略—

(質疑等)

- 25ページの「子ども・子育て応援アプリ」の施策の展開内容で、「子育てをしていく中で必要な手続きや情報を掲載するアプリを制作する。」と記載されているが、既にアプリの制作は完了しているため、「配信する」に修正する。
- 91ページの「武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定委員会設置要綱第7条」で、「委員会の庶務は、健康福祉部地域福祉課において処理する。」と記載されているが、課名が誤っているため、「健康福祉部福祉総務課」に修正する。
- 資料1「武蔵村山市子どもの未来応援プランの策定に当たって」の内容で、3点修正していただきたい箇所がある。
 - 1点目は、2行目から3行目にかけて、「豊かな人間関係の中で体験と通じて・・・」と記載されているが、「体験と」ではなく「体験を」に修正していただきたい。
 - 2点目は、7行目から8行目にかけて、「平成25年6月に子どもの貧困対策に関する法律を成立し・・・」と記載されているが、「法律を」ではなく「法律が」に修正していただきたい。
 - 3点目は、16行目から17行目にかけて、「支援が必要と考えられる家庭と子どもの存在が・・・」と記載されているが、「存在が」ではなく「状況が」に修正していただきたい。
- 修正する。
- 7ページの「6 東京都の取組」で、4行目に「子ども・子育てに関する総合計画」と記載があるが、「東京都子供・子育て支援総合計画」のことを指していると思うため、正式名称に修正していただきたい。
- 修正する。
- 12ページの「3 支援が必要と考えられる子どもの割合」では、本市の困窮層と東京都の困窮層を比較すると、本市の方が困窮層の割合が高いことを表現したいため、4行目の記載を、「「生活実態調査」による本市の困窮層の割合を平成28年に行われた東京都の同様の調査と比較すると、小学校5年生、中学校2年生ともに東京都より高くなっている」とした方が良い。
- 修正する。
- 12ページの8行目で「また、生活困難層の割合は・・・」と記載があるが、「また、困窮層と周辺層を合わせた生活困難層の割合は・・・」に修正した方が良い。
- 修正する。
- 23ページの「2 施策等連携のイメージ」では、「1 支援につなげる・支援をつなぐ」から各施策につながっていくように表

	<p>記されているが、施策については並列でなくて良いのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当初は、施策1から施策6までを円状に表記していたが、策定懇談会において、「支援につなげる・支援をつなぐ」が全ての子どもと家庭に掛かっていた方が良いという意見があったため、このようなイメージとなっている。 <p>しかしながら、基本的には、各施策は円につながっており、並列であると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 29ページの施策「ひとり親家庭等生活向上事業」の担当部署では、「東京都少子社会対策部育成支援課」と表記されているが、37ページの施策「乳児院の家庭養育推進事業」では、「東京都等少子社会対策部育成支援課」と表記されているため正しいのはどちらか。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「東京都少子社会対策部育成支援課」が正しいため、修正する。 <p>(結 論)</p> <p>原案を一部修正の上、決定する。</p> <p>議題2 その他 特になし。</p>
--	---

<p>会議録の開示 ・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開 示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等 :)</p> <p><input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等 :)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財政部 企画政策課 (内線 : 374)</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)